

TOTO

洗面化粧台・化粧鏡・ウォールキャビネット

LDPA060~075型 (洗面化粧台)

LMPA060~075型 (化粧鏡)

LWPA060~075型 (ウォールキャビネット)

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けください。

1 安全上の注意

- 取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	○は、してはいけない「禁止」内容です。		●は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	---------------------	--	------------------------

●取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告	
	浴室など湿気の多い場所へ設置しない 禁止 浴室など湿気の多い場所へ設置しない。漏電により感電するおそれがあります。
	電源コードを傷つけない 禁止 電源コードを傷つけない。漏電および火災の原因になります。
	コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない 禁止 コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない。化粧鏡が落下する原因になります。また、トラッキングによる火災の原因になります。
	水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず、「有資格者・指定業者」が行う 必ず実行 水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず、「有資格者・指定業者」が行う。火災や感電および水漏れの原因になります。

警告	
	壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する 必ず実行 壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する。キャビネットや化粧鏡が転倒しけがをするおそれがあります。
	電源はAC100Vを使用する 必ず実行 電源はAC100Vを使用する。AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。

注意	
	湯・水を逆に配管しない 禁止 湯・水を逆に配管しない。水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。
	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う 必ず実行 凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う。凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。
	取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する 必ず実行 取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する。使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。
	洗面ボウルの上ののらない故障および転落・転倒してけがをするおそれがあります。 禁止
	照明カバーは確実に取り付ける 必ず実行 照明カバーは確実に取り付ける。落下してけがをするおそれがあります。

2 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 電源コードは、上部からの取り出しもできます。
- 止水栓および壁排水ユニットは付属していませんので、必要な場合は、下記品番の別売品をご購入ください。

止水栓	壁給水	LTL316C1RU (2個)
	床給水	LT4BD25U (2個)
	壁排水ユニット	LO123

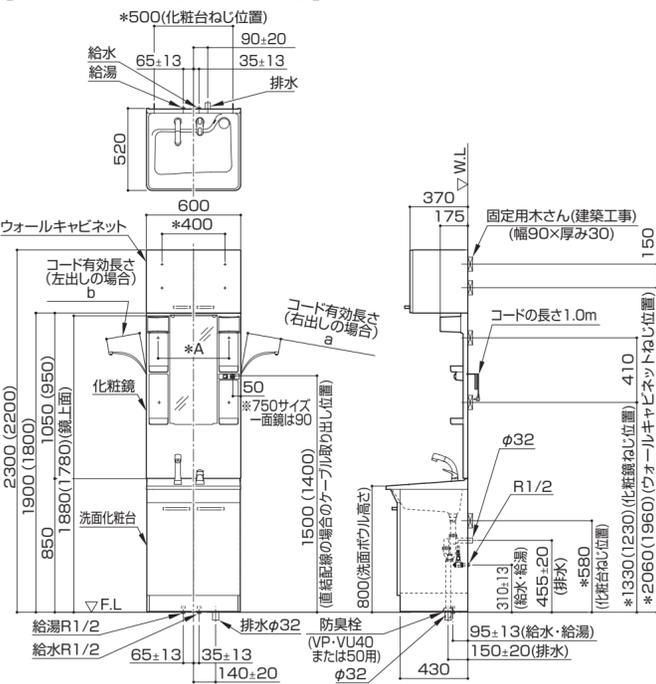
【樹脂配管の場合】

- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAを2個ご購入ください。

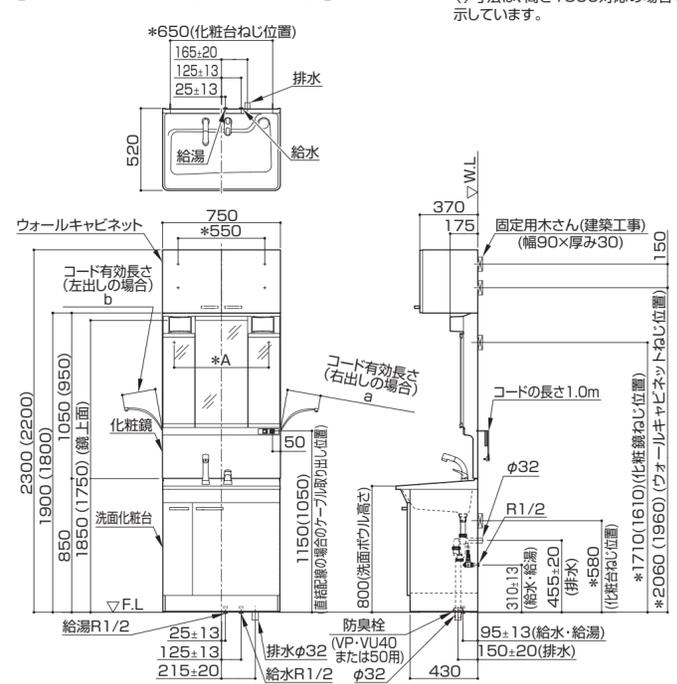
化粧鏡タイプ	間口	*A	a(右)	b(左)
LMPA060A1	600	450	1000	700
LMPA060B1				
LMPA075A1				
LMPA075B1	750	600	1000	550
LMPA075A3				
LMPA075B3				

*印の寸法は木ねじ位置を示します。
() 寸法は、高さ1800対応の場合を示しています。

【一面鏡の場合 (間口600)】



【三面鏡の場合 (間口750)】



3 付属部品明細

【洗面化粧台】

水栓一式	排水トラップ	給水ふた (めっき管用)	排水ふた (φ32用)	防臭栓	壁固定用ねじ (φ5.2×55)	取扱説明書 (保証書付)	水受けトレイ
1セット	1セット	2個	1個	1個	2本	1冊	1個

【化粧鏡】

壁固定用ねじ (φ4.5×50)	化粧キャップ	電球形蛍光灯 (12W)	照明カバー
【4本】LMPA060A1/B1型 LMPA075A1/B1型 【2本】LMPA075A3/B3型	【4個】LMPA060A1/B1型 LMPA075A1/B1型 【2個】LMPA075A3/B3型	2個	2個

【ウォールキャビネット】

壁固定用ねじ (φ5.2×55)
4本

4 使用条件

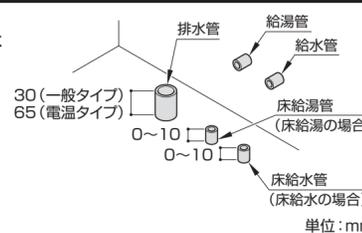
- 水栓金具の使用条件は水栓金具に付属の組立・設置説明書をご参照ください。

5 取り付け条件

- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れてください。
※特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちる事のないように、壁固定ねじ取付位置には壁面に固定用木さんを入れてください。
(固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)(建築工事)

- 給水管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より右図要領で立上げてください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。)

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、メジシールでシールしてください。

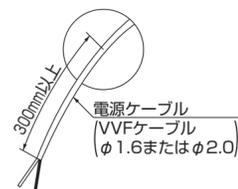


電気工事

【化粧鏡を直結配線にする場合】

- あらかじめ電気工事業者様にお願いして右図のように電源ケーブルを取り出しておいてください。

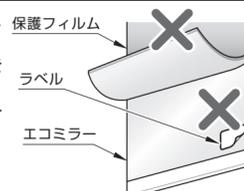
※取り出し位置は設置寸法を参照してください。



警告	
	配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う 必ず実行 正しく被覆をむかないと、ショート・感電・火災の原因になります。
	電源コードを切断して、電源ケーブル(VVF)と直接つながらない 禁止 発火・火災の原因になります。

6 化粧鏡の設置上の注意

- 鏡の取り出し、取り付けなどは必ず2人で作業してください。
- 鏡を置く場合は、床に必ず緩衝材(ダンボール等)を敷いてください。
- ご使用前に傷が付くおそれがあるため、エコミラーの保護フィルムとラベルは、はがさないでください。



7 取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

- 重要
※キャビネットの扉・引き出しはあらかじめ外しておいてください。引き出しの外し方は側面に貼ってあるラベルを参照願います。取り付けが終わりましたら元に戻してください。

1 給・排水穴の穴あけ

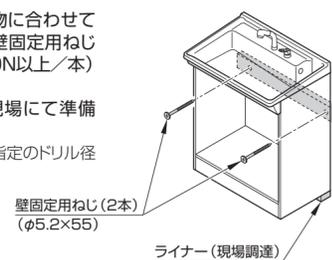
- 給水・排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴(φ30~50×2カ所)、排水穴(φ50)を穴あけしてください。
- オプションで電気温水器を取り付ける場合は、給湯用の穴あけは不要です。また、排水穴の穴あけ要領については、電気温水器に付属の説明書を参照してください。

2 化粧台の取り付け

- 裏板に開いたφ3の下穴を目印に付属の壁固定用ねじ(2本)で壁に固定してください。

重要
※商品は水平・垂直に取り付けてください。
(床・壁面に不陸がある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)

- タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。
プラグは壁固定用ねじにあわせて現場にて準備してください。
(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)



3 水栓一式の取り付け

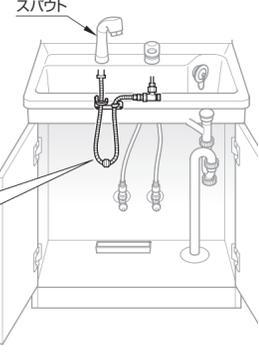
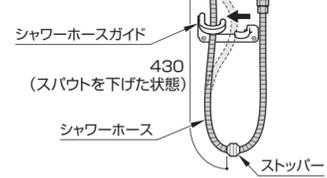
- 取り付けについては、水栓金具の組立・設置説明書をご参照ください。

7) 取り付け手順 (つづき)

4) シャワーホースの取り付け

●シャワーホースを図のようにホースガイドに通してください。

【一般地の場合】

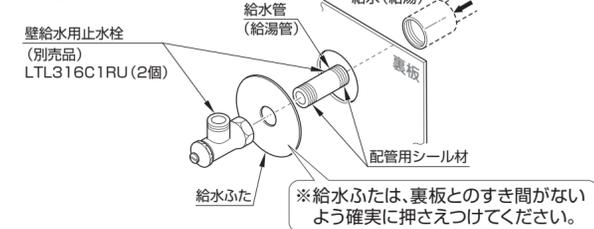


※シャワーホース引き出し長さ360

5) 止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 樹脂配管対応は樹脂配管用止水栓に付属の組立・設置説明書をご参照ください。

【壁給水の場合】



※給水ふたは、裏板とのすき間がないよう確実に押さえつけてください。

【床排水の場合】

③ 排水トラップに排水パイプの位置をあわせて差し込み、ナットを手で確実に締めてください。

① 排水パイプに排水ふたおよび防臭栓を通して排水管に差し込み、ナットを仮締めしてください。

※排水ふた、または給水ふた同士が重なった場合は、重なった部分をカットしてください。

※排水ふたは、底板とのすき間がないよう確実に押さえつけてください。

注意

- 排水トラップ上部のナットを初めから強く締めないでください。排水パイプとの接続調整の際に排水ヘッドが共回りして、洗面ボウル接続部から水漏れする原因になります。

重要

- ※防臭栓は、取り付け忘れ、すき間がないようにしてください。下水ガスが流入し錆・異臭の原因にもなります。

【壁排水の場合】

※穴は現物に合わせてカットしてください。排水ふた、または給水ふた同士が重なった場合は、重なった部分をカットしてください。

③ 排水トラップと壁排水ユニットの位置をあわせ、ナットを手で確実に締めてください。

② 排水トラップ上部を排水ヘッドと壁排水ユニットに奥に当たるまで差し込み、ナットを仮締めしてください。

注意

- 排水トラップ上部のナットを初めから強く締めないでください。排水パイプとの接続調整の際に排水ヘッドが共回りして、洗面ボウル接続部から水漏れする原因になります。

① 壁排水ユニットをアダプターに接続し、ナットを仮締めしてください。

※パイプ長さは現場に合わせてカットし、バリは取り除いてください。

【床給水の場合】

床給水用止水栓 (別売品) LT4BD25U (2個)

※給水ふたは、底板とのすき間がないよう確実に押さえつけてください。

※水受けトレイ固定用の穴をふさがないように固定してください。公差により給水ふたが水受けトレイ固定用の穴をふさいでしまう場合は、給水ふたをカットしてください。

6) 水栓金具の給水・給湯接続

- 給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の組立・設置説明書に従い接続してください。

7) 排水パイプの取り付け

- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプアダプター (別売品) で確実に接続してください。
- 各ナットを仮締めし、位置調整をしてから本締めをしてください。

注意

- パッキンの方向に注意する

【床排水の場合】

【壁排水の場合】

●ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない。水漏れの原因になります。

アダプター (別売品) 接続の場合

アダプターの種類	サイズ
T1122 (鋼管用)	R1 1/4
T1122J (塩ビ管用)	30用
LO48 (塩ビ管用)	40用
LO49 (塩ビ管用)	50用

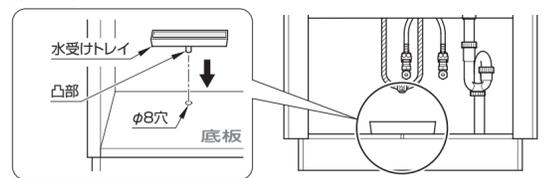
※T1122Jは排水パイプのカットが必要です。

＜T1122J使用時の取り付け手順＞

- ① 排水パイプをカットしてください。(右図参照)
- ② カット側をアダプターに差し込んでください。
- ③ 排水パイプ上部を排水トラップに差し込んでください。
- ④ ナットを手で確実に締めてください。

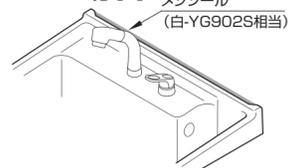
8) 水受けトレイの取り付け

- 図のように底板の、φ8穴に水受けトレイの凸部を差し込み固定してください。
- シャワーホースを伝わる水が受けられるように必ず水受けトレイを設置してください。



9) 化粧鏡を取り付けしない場合

- 洗面器と壁面の間をメジシールで埋めてください。



10) 化粧鏡を取り付けする前に

【直結配線の場合】

- 電源コードを取り外してください。

② ねじを外し、取り付け枠を外す

① プレートを外す

③ ①ドライバーで押しながら、電源コードを引っ張って取り外す

※他の電線を引っ張らないよう注意してください

10) 化粧鏡の取り付け

② 壁固定 (4カ所：一面鏡の場合) (2カ所：三面鏡の場合)

- 所定の固定穴を使用してください。
- 電源コードと接触しないようにしてください。
- ※化粧キャップ (2個または4個) をはめ込んでください。

取付位置がゆがんでいる場合は、鏡がゆがむことがありますので、ゆがまないよう、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込んでください。壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面にライナー (現場調達) を入れてください。

※タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ (引抜き強度: 1,000N以上 / 本) を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定ねじにあわせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

警告

配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う。必ず実行。正しく被覆をむかないと、ショート・感電・火災の原因になります。

- 電源ケーブル (VVF) を接続してください。

① 電源ケーブル (VVF) を差し込み、接続する

電線は奥まで確実に差し込み、抜けないことを確認する

② 取り付け枠をねじで固定し、コンセントプレートをはめ込む

ケーブルは切り欠き内に戻す

8) ウォールキャビネット取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

① ウォールキャビネットをセットする

- ※設置寸法に合わせて、ウォールキャビネットを設置してください。
- ※化粧鏡との間に、すき間があく場合があります。

② 位置を合わせる

- ※水平・垂直方向の位置合わせをしてください。

③ 壁固定用ねじで固定する

9) 取り付け完了後の確認と清掃

- 商品が壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 扉・引き出しの傾き・かたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。調整要領は扉裏面に貼り付けのラベルを参照ください。
- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認してください。
- 照明スイッチを入れて照明が点灯することを確認してください。

③ 照明の取り付け (2カ所)

- ① 電球形蛍光灯の取り付け
- ② 照明カバーの取り付け

④ コンセント接続

プラグ差し込み方向によってはコンセントの極性が逆になりますので、電源コードの黒いラインが入っている側をコンセントの接地側 (長穴側) に接続してください。

① 化粧鏡の設置

化粧鏡を洗面化粧台の上のせて、左右の位置合わせをしてください。

その際、化粧鏡の電源コードを本体溝から外に出しておいてください。

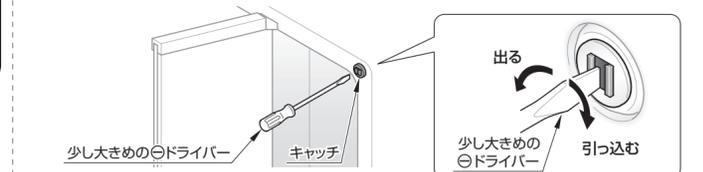
警告

- 電源コードを束ねたままにしない。電源コードが発熱して火災の原因になります。
- 電源コードは必ず切り欠き部から出す。電源コードを本体と壁の間に挟み込むと発熱・火災の原因になります。

【直結配線の場合】

- 電源ケーブル (VVF) の電線被覆をむく長さはコンセントのストリップゲージにあわせてください。

- 袖鏡が確実に閉まるか確認してください。閉まらない場合は、下図のようにキャッチの高さを調整してください。



- コンセントに通電することを確認してください。
- 商品に付いた汚れ (プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む) は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

シンナー・ベンジン・除光液などの使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。

10) 寒冷地タイプの水抜き

寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

注意

- 凍結のおそれのある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と合わせて、次の要領で水抜きをする
- お客様にも水抜き方法をご指導ください。
- ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない。水漏れの原因になります。

① 水受けの容器を置き排水トラップの水抜きコックを開けてください。

② 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。